

ムーミンたちの、優しくてちょっと不思議な世界へようこそ!!

©Moomin Characters™

MOOMIN

ムーミンハウス
をつくる

組み立てガイド

1



DeAgostini
COLLECTIBLES



玄関ポーチの階段の土台と



ムーミンのベッドを組み立てる

組み立てのコツが満載!

組立サポート
動画を
チェック!



<http://deagostini.jp/app/moo/>



ハウス Parts

- ① 底板
- ② 側面
- ③ 側面 (右側)
- ④ 側面 (左側)
- ⑤ 蹴込み板 (A) × 2
- ⑥ 蹴込み板 (B)
- ⑦ ヘッドボード
- ⑧ フットボード

家具 Parts

- ⑨ フレーム
- ⑩ 床板
- ⑪ マット
- ⑫ 布
- ⑬ フィギュア用両面テープ

使う道具

- カッターナイフ
- マスキングテープ
- ようじ
- カッティングマット

フィギュア

- ⑭ ムーミン トロール

スターターキット

- ⑭ 紙ヤスリ (240番)
- ⑮ 木工用ボンド
- ⑯ 瞬間接着剤



⑬ フィギュア用両面テープはフィギュアを立てる際に、足の裏の形に合わせて切ってお使いください。



階段の土台の組み立て

1 ⚠️ ボンドをつけずに組み立て、正しく入るか確認します。

② 側面

① 底板

①底板と②側面を、ボンドをつけずに組み立て、正しく入るか確認します。

ADVICE アドバイス 穴に入りにくい場合は突起を調整

突起を紙ヤスリで削って調整します。ほかの部分傷つけないように注意してください。紙ヤスリの使い方は、下の「道具の使い方」を参照してください。少し削るだけで入りやすくなります。

2 ⚠️ 突起の周囲など、細かな部分にもボンドをつけると強度が高まります。

正しく組めることを確認したら、②の接着面にボンドをつけます。ボンドの使い方は、右の「道具の使い方」を参照してください。ようじの先などにボンドを取って伸ばします。

道具の使い方



紙ヤスリ

木製パーツの調整や塗装の際の仕上げなどに使います。目の細かさが番号で示され、スターターキットの紙ヤスリは240番のものです。



紙ヤスリは二つ折りにして使うのが基本。使いやすい大きさに切ってから、折り曲げて使いましょう。

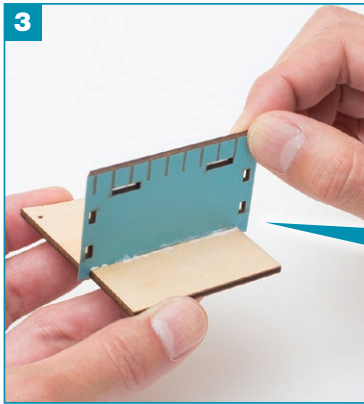


木工用ボンド

スターターキットのボンドは、キャップを開いて中フタを外してから使います。

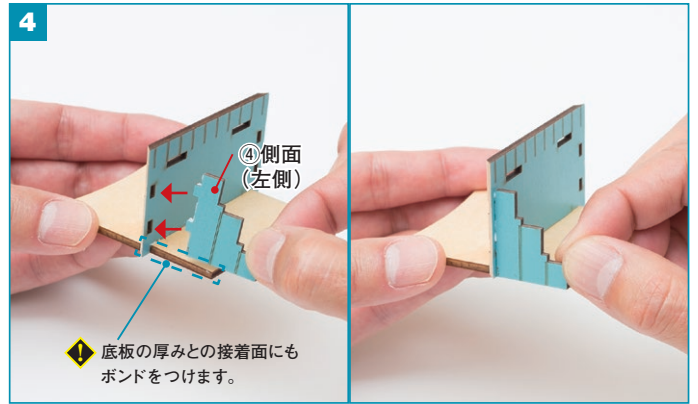


慣れないうちは、パーツに直接つけるのではなく、ビニールの上などに出してから使うとよいでしょう。ようじの先などに取って塗ると、適量がつけやすくなります。

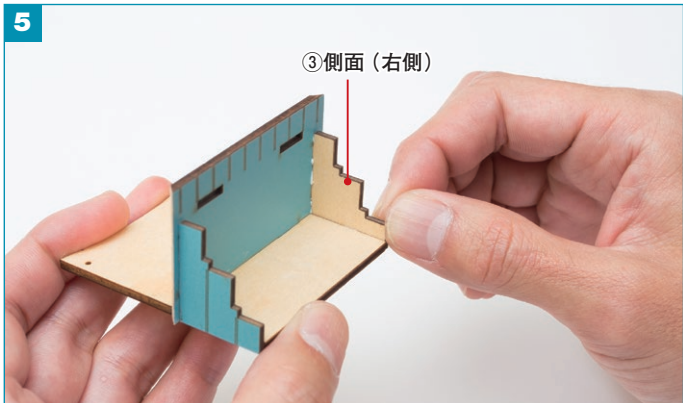


はみ出たボンドは乾く前に取り除く

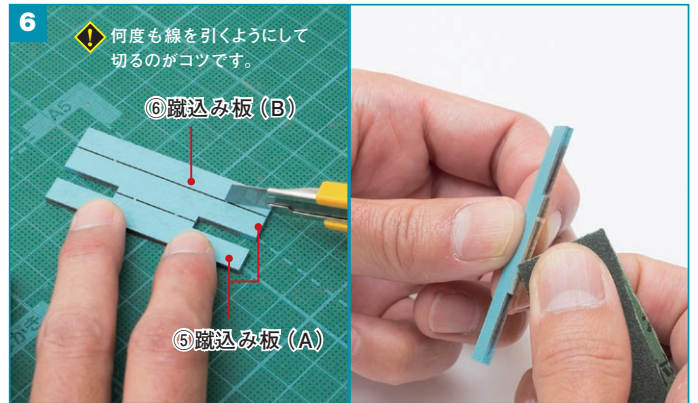
1と同じ要領で、①と②を組み合わせます。はみ出たボンドは乾く前に、よじの先などできれいに取り除くのが基本です。



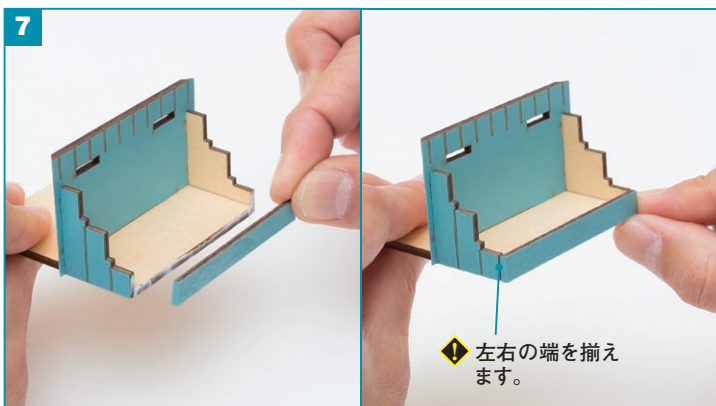
3で組み立てたブロックに、④側面（左側）をボンドで接着します。④の突起を②の穴に差し込んでください。



同様に、反対側に③側面（右側）をボンドで接着します。



⑤蹴込み板（A）2枚と⑥蹴込み板（B）1枚を分けます。継ぎ目をカッターナイフで何度も線を引くようにして切って外してください（左写真）。切り口は、紙ヤスリをかけて平らにします（右写真）。



5で組み立てたブロックの写真の位置に、⑥をボンドで接着します。

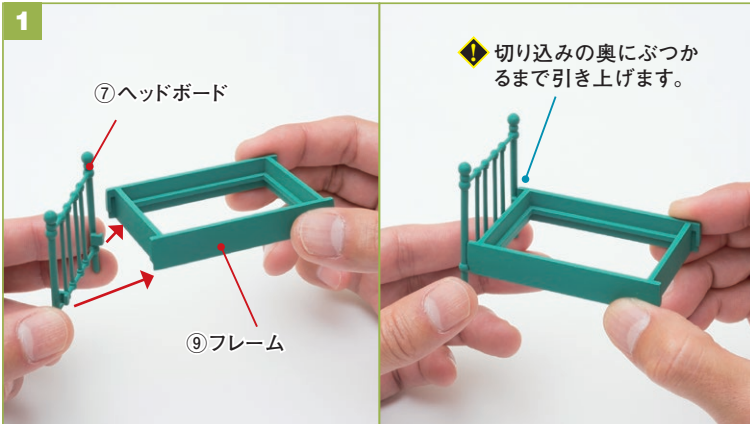
今号の完成



これで今号のハウスパーツは完成です。⑤蹴込み板（A）2枚は、第2号で踏み板をつけてから組み立てます。なくさないよう、大切に保管しておいてください。



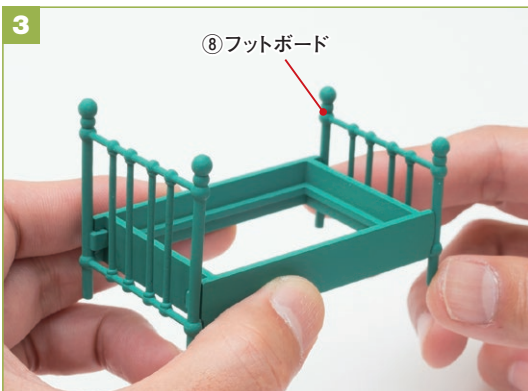
ムーミンのベッドの組み立て



⑨フレームと⑦ヘッドボードを組み合わせます。⑦のコの字形の突起を、⑨のL字形の突起に下側からかみ合わせ、切り込みの奥にぶつかるまで引き上げます。



⑦がずれないように裏返して、突起のかみ合わせ部にようじの先などで少量の瞬間接着剤をつけます。接着剤が隙間に流れ込んで固定されます。瞬間接着剤の使い方は下の「道具の使い方」を参照してください。



①～②と同じ要領で、反対側に⑧フットボードを瞬間接着剤で接着します。

⚠ 瞬間接着剤も、ビニールの上などに出してから使うのがおすすめです。ようじの先などに取って塗ると、適量がつきやすくなります。

道具の使い方

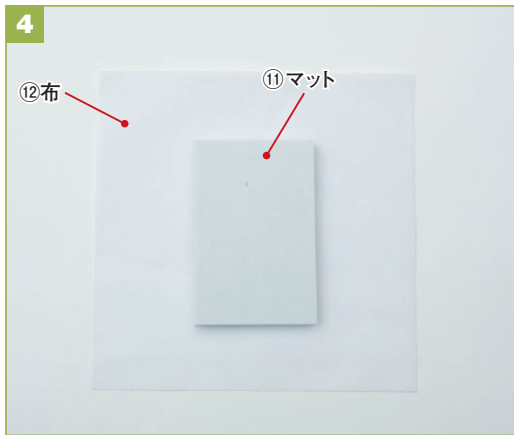
使い方	
<p>① あらかじめ接着面の汚れ、サビ、油分を取り除きよく乾燥させてください。</p> <p>② 接着面の片面へ少量塗付し、伸ばさずにもう一方の接着面を合わせて押し広げてください。</p> <p>③ ご使用後は、ノズル先端をよく拭きキャップをして直射日光を避け、乾燥した涼しい場所で保管してください。</p> <p>● チューブは折り曲げないでください。</p> <p>● 廃棄する場合は、容器を密封して燃えないゴミとして処理してください。</p>	<p>開封のしかた</p> <p>※ 開封時、チューブを強く持つと接着剤が飛び出る恐れがあるのでご注意ください。</p> <p>① キャップを上に押し上げてノズルを時計回りに回して開きます。</p> <p>② ハカマが開ききるまで十分に回してください。</p> <p>③ キャップだけを時計回りにまわし、ゆっくりはずしてご使用ください。</p>

本品は信頼性の高い商品ですが、思わぬ失敗や損傷を生じることがありますので、ご使用前に本品が目的の用途に適合するかをお確かめください。

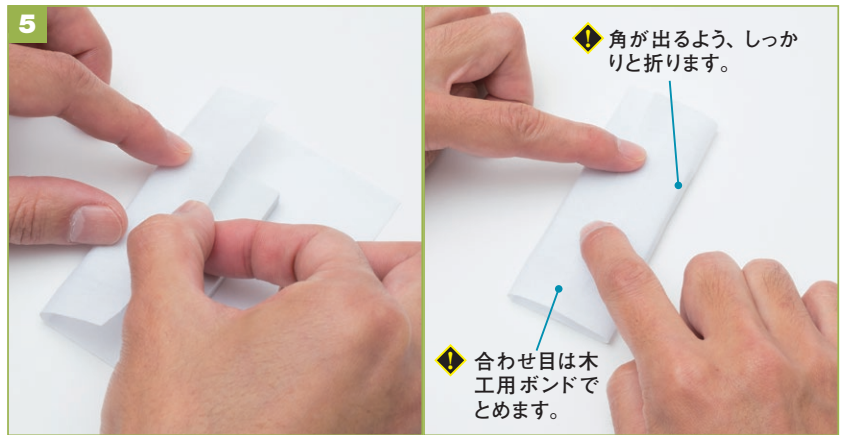
品質表示 ※ 製造年月はチューブに記載
種類：化学反応形接着剤
成分：シアノアクリレート（95%以上） 容量：3g
キャップPE
ノズルPE

応急処置および取扱い上の注意

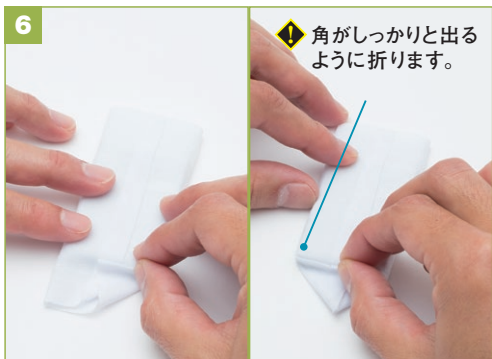
▶ この接着剤は皮フを瞬間に強力に接着するので、皮フにつかないように、十分に注意すること。▶ あやまって指などを接着したときは、無理にはかさずお湯の中でゆっくりもみほぐしながらはがすこと。▶ 眼に入ったときは、すぐに大量の水でよく洗眼し、医師の診断を受けること。無理にはがそうしたり、眼をこすったりは絶対にしないこと。▶ 衣類にしみこませると取り除けないので、注意すること。▶ 布などに多量に付着すると発熱するので、やけどに注意すること。▶ 火気のある所では使用しないこと。▶ 使用中、使用後はよく換気すること。▶ 幼児の手の届かない場所に保管し、いたずらをしないよう注意すること。▶ 接着用途以外には使用しないこと。▶ ※ 商品の性質上開封後はお早めにご使用ください。



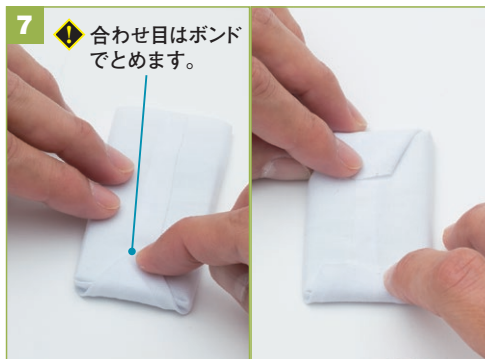
写真のように、⑫布の中央に⑪マットを置きます。



左右の布を折り、マットを包みます。合わせ目は木工用ボンドをつけてとめてください。



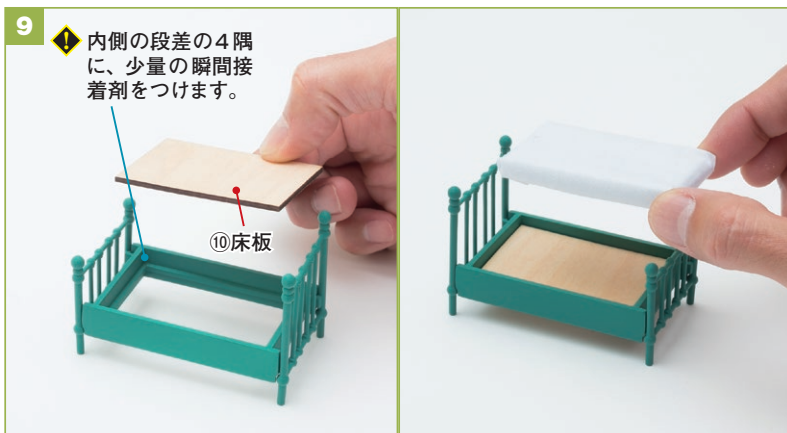
今度は、上下の布を折っていきます。まず、手前側、左右の角の布を斜めに折ります。



手前側の布を折り、木工用ボンドでとめます(左写真)。奥側の布も同様に折ってください(右写真)。



ボンドが乾いたら、マスキングテープをはがします。



フレームの内側の段差の4隅に、少量の瞬間接着剤をつけてから、⑩床板を入れて接着します(左写真)。最後に、8で組み立てたマットレスを入れます(右写真)。



ムーミントロールのフィギュアと並べれば、小さなシーンができあがります！



玄関ポーチの階段とコートハンガー、スナフキンのテントを組み立てる



<http://deagostini.jp/app/moo/>



ハウス Parts

①床板

②側面 (左側)

③側面 (右側)

④踏み板 (A) × 2

⑤踏み板 (B)

家具 Parts

⑥柱

⑦土台

⑧脚

⑨フック

小物 Parts

⑩テント本体

⑪布

⑫補強布

⑬テント用両面テープ

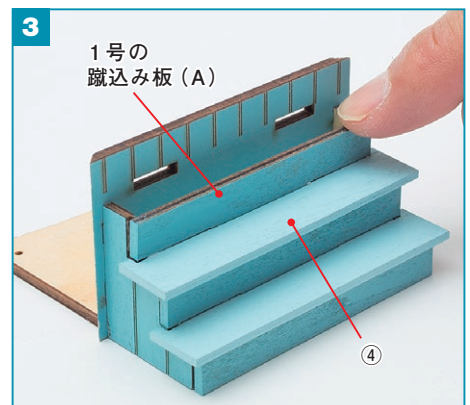
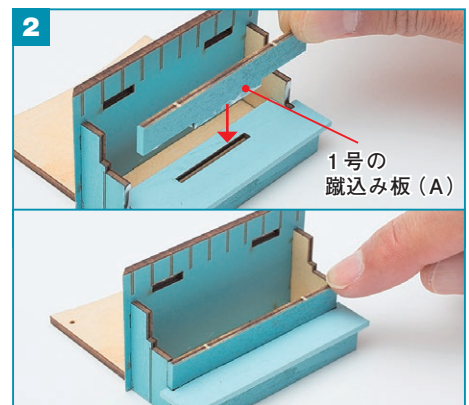
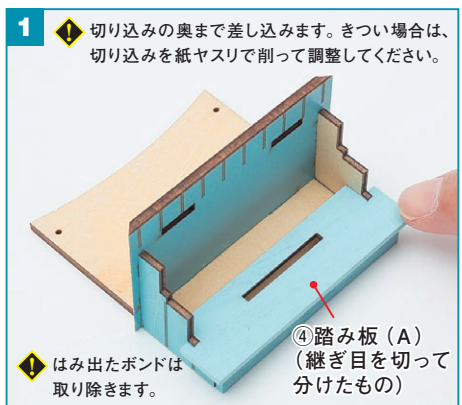
⑭フィギュア用両面テープ

フィギュア

⑭フィギュア用両面テープはフィギュアを立てる際に、足の裏の形に合わせて切ってお使いください。

- 使う道具**
- 木工用ボンド
 - 紙ヤスリ (240番)
 - カッターナイフ
 - カットングマット
 - ハサミ
 - ようじ

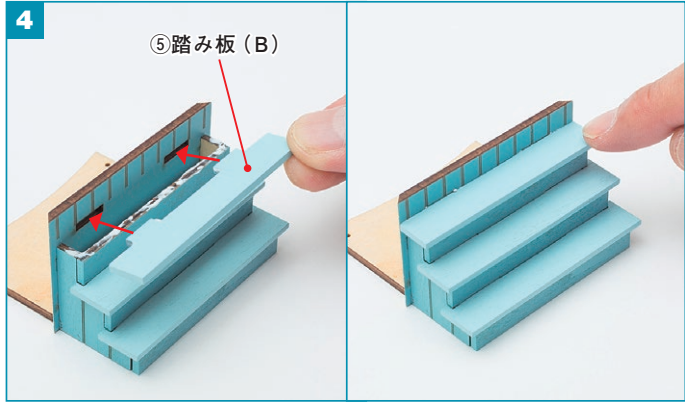
玄関ポーチの階段の組み立て



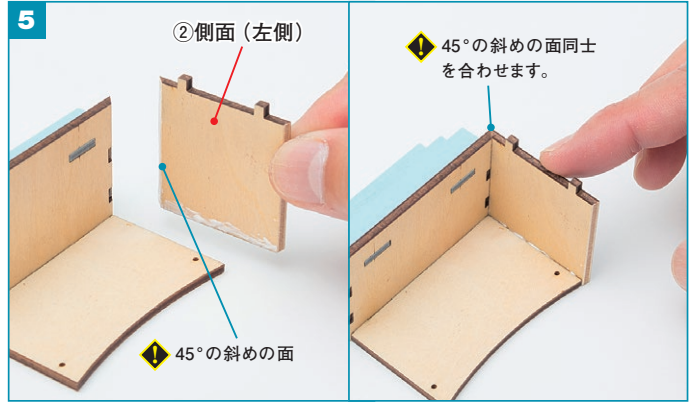
④踏み板 (A) の継ぎ目をカッターナイフで切って分け、切り口を紙ヤスリで平らにします。④を1枚、1号の玄関ポーチの写真の位置に、ボンドで接着します。

1号で保管しておいた蹴込み板 (A) を1枚用意し、踏み板の上にボンドで接着します。突起を踏み板の穴に差し込んでください。

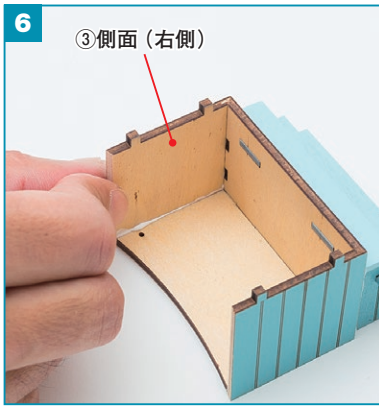
1～2と同じ要領で、下から2段目に残りの④と1号の蹴込み板 (A) をボンドで接着します。



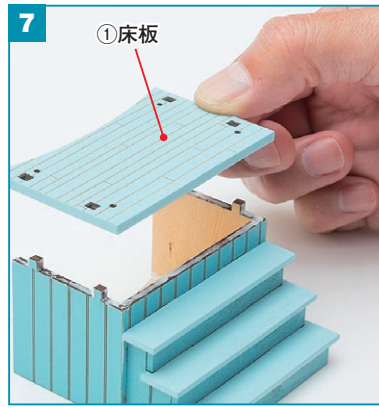
⑤踏み板 (B) をボンドで接着します。突起を穴に差し込んでください。



写真の位置に②側面 (左側) をボンドで接着します。



⑤と同じ要領で、反対側に③側面（右側）をボンドで接着します。

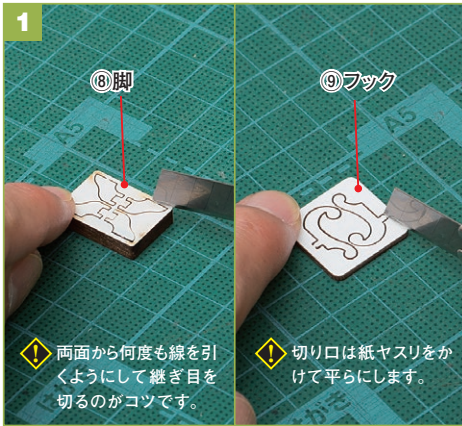


⑥のボンドが乾いたら、最後に①床板をボンドで接着します。床板の穴に側面の突起を奥まで差し込んでください。

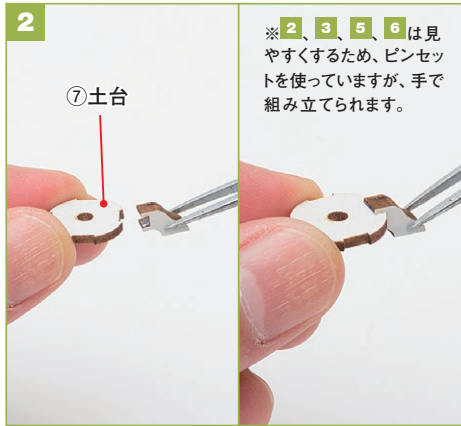
今号の
完成



コートハンガーの組み立て



⑧脚（4本）と⑨フック（突起の位置が異なるものが2個ずつ）を板から外します。



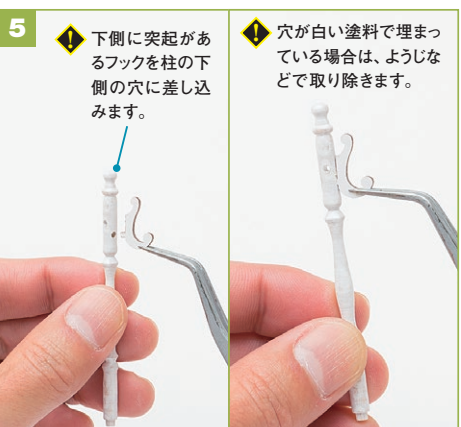
⑦土台に、脚を1本、ボンドで接着します。土台と脚の切り込みをかみ合わせ、奥まで差し込んでください。



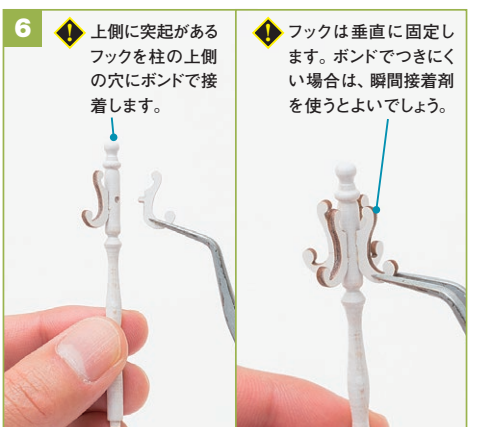
②と同じ要領で、土台の残り3カ所の切り込みに脚を1本ずつ、ボンドで接着します。



フックと⑥柱の向きや組み合わせ方を確認します。フックの突起の位置は2種類あり、⑥柱の穴の位置も2種類あります。



まず、写真のように下側に突起があるフックを、⑥柱の下側の穴にボンドで接着します。フックの突起を柱の穴に差し込んでください。



今度は、上側に突起があるフックを、柱の上側の穴にボンドで接着します（左写真）。同じ要領で、残り2つのフックを柱に接着します（右写真）。

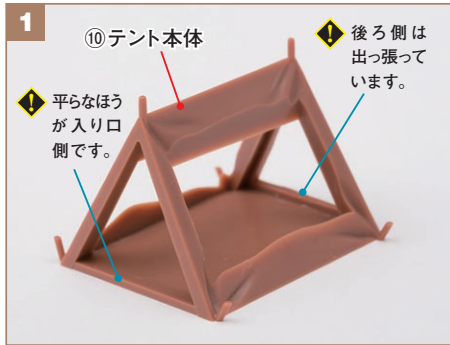


スナフキンのテントの組み立て



※白い塗料は、上塗りする絵の具のための下地です。後の号で着色して仕上げます。

3で組み立てた土台に柱をボンドで接着します。柱の下端を土台の穴に差し込んでください。柱が垂直になるように調整してからボンドを乾燥させます。



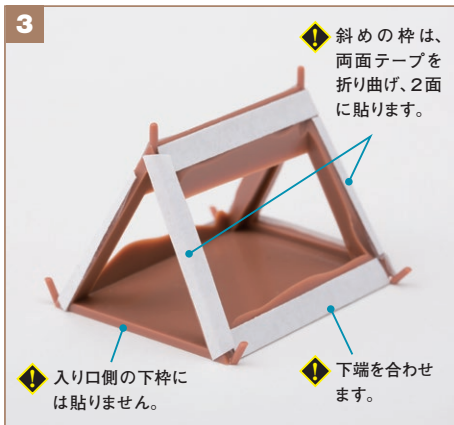
1 ⑩テント本体
 平らなほうが入り口側です。
 後ろ側は出っ張っています。

まず、⑩テント本体の向きを確認します。入り口側と後ろ側では底板の端の形が異なります。



2 ⑬テント用両面テープ
 上端を合わせます。

テント本体の枠に⑬テント用両面テープを貼っていきます。まず、片側の上下に貼ります。上端に合わせて貼り、長さを合わせて切ります。



3 斜めの枠は、両面テープを折り曲げ、2面に貼ります。
 入り口側の下枠には貼りません。
 下端を合わせます。

ほかの枠にも両面テープを貼ります。下枠は下端を合わせて貼り、斜めの枠は折って2面に貼ります。



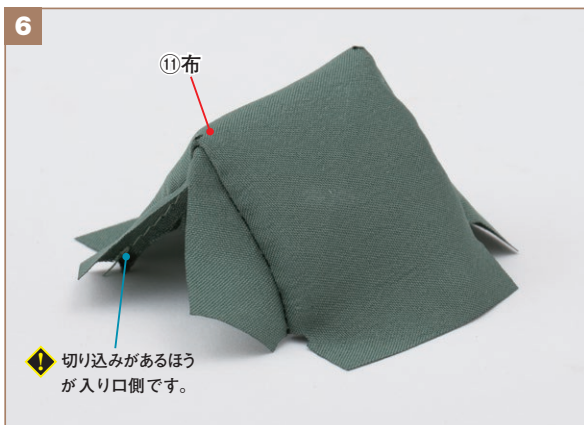
4 後ろ側の下枠にも貼ります。

3の反対側です。後ろ側の下枠にも両面テープを貼ってください。



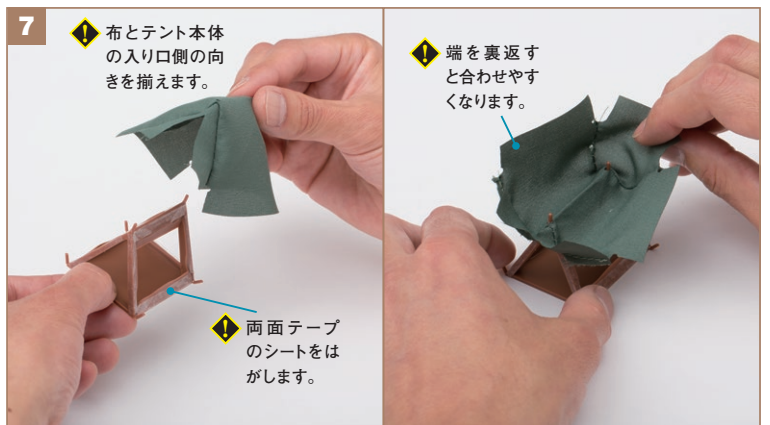
5 底面には、写真のように両面テープを貼ります。外側の端を合わせてください。

底面には、写真のように両面テープを貼ります。外側の端を合わせてください。



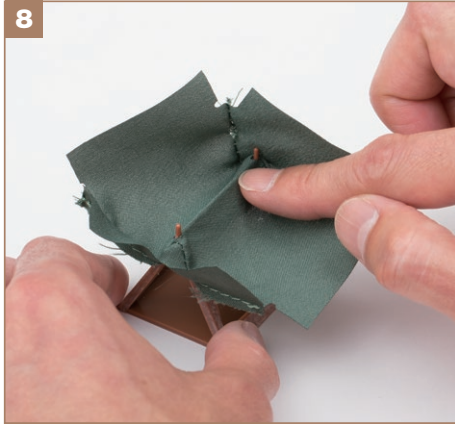
6 ⑪布
 切り込みがあるほうが入り口側です。

⑪布の向きを確認します。切り込みがあるほうが入り口側です。

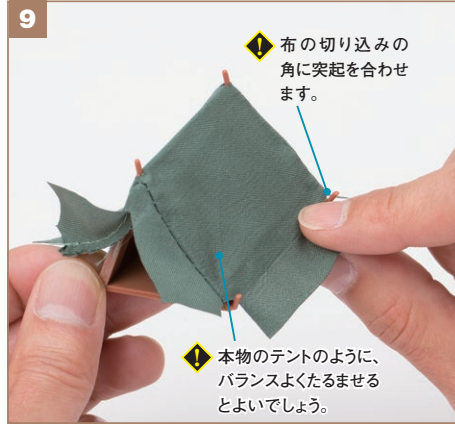


7 布とテント本体の入り口側の向きを揃えます。
 両面テープのシートをはがします。
 端を裏返すと合わせやすくなります。

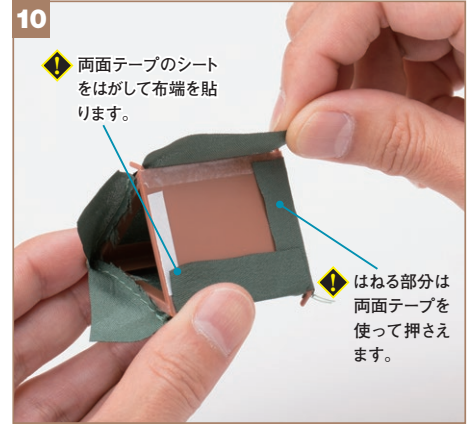
テント本体に貼った底面以外の両面テープのシートをはがしてから、布を合わせます。入り口側の向きを揃え、テント本体上部の突起を布の穴に差し込みます。



8 布を下側に引いてたるまないようにしながら、上枠の部分をpushさえつけ、両面テープにしっかりと貼ります。



9 片側の端を引きながら、上側から下側に向けて枠に貼りつけていきます。
 ⚠ 布の切り込みの角に突起を合わせます。
 ⚠ 本物のテントのように、バランスよくたるませるとよいでしょう。



10 同様に、後ろ側と反対側の布も枠に貼ってから、写真のように布端を引きながら底面に貼ります。
 ⚠ 両面テープのシートをはがして布端を貼ります。
 ⚠ はねる部分は両面テープを使って押さえます。



11 入り口側の布を枠に貼ります。テント内側の縫いしろが枠を隠している場合は、縫いしろの上にもう一度、両面テープを貼ります。
 ⚠ 縫いしろの上に両面テープを貼ります。



12 入り口側の布を引きながら、枠に貼ります。

ADVICE アドバイス 布端をボンドで補強

入り口側など、見える部分の布端は、少量のボンドを塗っておくとほつれにくくなります。縫い目がほつれてきた場合もボンドで補強するとよいでしょう。



13 ※はみ出たテープは、カッターナイフかハサミで切ります。
 ⑫補強布
 ⚠ 両面テープを2列貼ります。



14 入り口側の布端を写真のように少し折り、開くようにします。
 ⚠ 小さく切った両面テープを使ってとめます。



後の号で、コートハンガーの着色の方法や、コートハンガーにかけるストールなどの小物の作り方を紹介します。